

# 菊陽人 りさーち



いそざき ゆり  
**磯崎 有里さん** (6歳)  
[大堀木]

- 趣味 シールを集めること
- 将来の夢 小学校の先生
- 自分を一言で表すと いつも元気!
- 自慢 足が速いこと



みやもと かほ  
**宮本 華帆さん** (7歳)  
[大堀木]

- 趣味 ケイドロ
- 将来の夢 お花屋さん
- 自慢 お友達がいっぱいいること
- 家族に伝えたいこと 旅行に行きたい

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。

# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
**お知らせ**  
【No.31】

◆人権標語  
「おうんしてもらって元気がでたよ。ありがとう」 菊陽南小学校3年 矢野 葉乃子  
「みなまたの 人の悲しみ わすれるな」 菊陽南小学校5年 朝比 里緒菜

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎232-2113

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす

## 菊陽町人権子ども集会

～差別をなくす  
「なかまの輪」を広げよう～

入場  
無料

■日時 12月3日(土) 午前9時～午前11時30分  
■場所 菊陽町民体育館

### プログラム

- 開 会(中部小) 司会(武中)
- 歌 「語り合おう」(中部小)
- 目的発表(北小)
- 発表(菊陽中、武小、武北小、西小)
- 集会宣言(南小)
- 閉 会(中部小)

■主催 菊陽町 菊陽町教育委員会  
菊陽町人権教育推進協議会  
■実行委員 両中学校生徒会執行部、各小学校代表者

### 「自分を知るために」

菊陽町人権子ども集会 亀川達哉  
実行委員長

今回の町人権子ども集会の実行委員長を務めます武蔵ヶ丘中学校3年生の亀川です。この集会は私たち子どもが自分たちで周りの環境を良くしていくための集会です。

相手を思いやり、考えるためにはまず自分を知らねばなりません。この集会を自分を見つめ直すいい機会にしたいと思っています。



▲私たちが企画準備しました

### 菊陽町人権の歌

## 「JUNJUN」

ができました!

9月17日に開催された「人権のまち菊陽フェスタ」で素敵な歌声を披露された歌手のちひろさん(山口県在住)に、人権の歌を作詞・作曲していただきました。ふとした風景や人との触れ合いが詞となり、伸びやかでゆったりとした曲と合わせて、心あたたかな歌ができました。

今後は町のイベントなど、多くの方が集まる場で積極的に紹介させていただきます。  
希望する人にはCDや歌詞楽譜を配布しますので、詳しくは人権教育・啓発課までお問い合わせください。なお、配布できる数には限りがあります。



### 「こころ」紹介(歌詞一部)

～菊陽町人権の歌～

お花が風に 揺れたとき  
なぜだか 笑ったような気がした  
だから私も 風に揺れて  
お花に 笑ってみたよ  
《一部省略》  
みんな一緒に いきているよ  
みんなこの地球から  
生まれてきたよ  
サンサンと輝く 空いっぱい  
この命 この心 広がる  
《二番省略》  
あなたとわたし みんなのこころ  
ありがとう



## きくよう文芸

### 菊陽句会報

夜半の雨あたりに秋を置いてゆき ひたむきに学僧勤め今朝の秋 災をかたはらに置き曼珠沙華 グリルからはみだしそうなさんま買ひ 地を這いて朝顔咲きぬ二つ三つ 夫の背に良き風ふはり宵の月 栗飯の栗たつぷりを供へけり 河原撫子抱き山里下りけり ひと筆をためらひつつも夜の秋 庭隅の草の間より虫の声 新著の古き記憶や馬車の揺れ	坂本百合子 田中 郁子 井 子文 財津 早雪 原野レイ子 力 幸子 寺尾千代子 高橋 孝子 堀川 妙子 吉野 早苗 井上久美子	夕焼がおりなす山の遠景色 柿たわ、旧家の門のひそやかに 置き去の孫の遊具や晩夏光 稲雀友呼ぶ声に群れ立てり 叔父逝きぬ白寿に残暑超え難く 老いてなお学ぶ愉楽や秋の句座 大夕焼一朶の雲よ招魂碑 冷奴勇気が欲しい七十才 いぬのさんぽこおろぎないたつかまえた 蔓荔枝真赤になつて熱中症 金婚は人生途中十三夜	宮川ユキエ 日高 妙子 曾我 育代 曾我トモ子 紫藤 祥子 村上 朋子 野口 令史 松橋 強 佐藤 健 佐藤 澄世
--	---	--	--

### 短歌会

預かりし犬は帰りに吾が庭は落ち葉のみにて広々と見ゆ  
草分けて赤き花咲く土手堤朝夕かすかに涼しくなりぬ  
満月に近づく今宵の明るさよ潮の香る浜辺を歩く  
蝉のかげいつしか消えてふるさは風さわやかに秋に入りゆく  
七十を過ぎたる吾への気遣いか訪ねれば仕事を問いし母なり  
虫の音に秋の来たるを思いつつ今宵長々と湯船に浸る  
空の青わが思いをも見抜きしやなすがままにと前を向き行く  
耐えがたき思いに暮せしあの日々を宝の如く思うこの頃  
野辺に咲く緑のなかの紅き花触ればたちまち崩るるほどに

今村 貞子 梅田 國雄 菊川あさみ 河北 幸一 佐藤せい子 下田 久子 中村トシエ 森 敦子 山川 カヅ
--